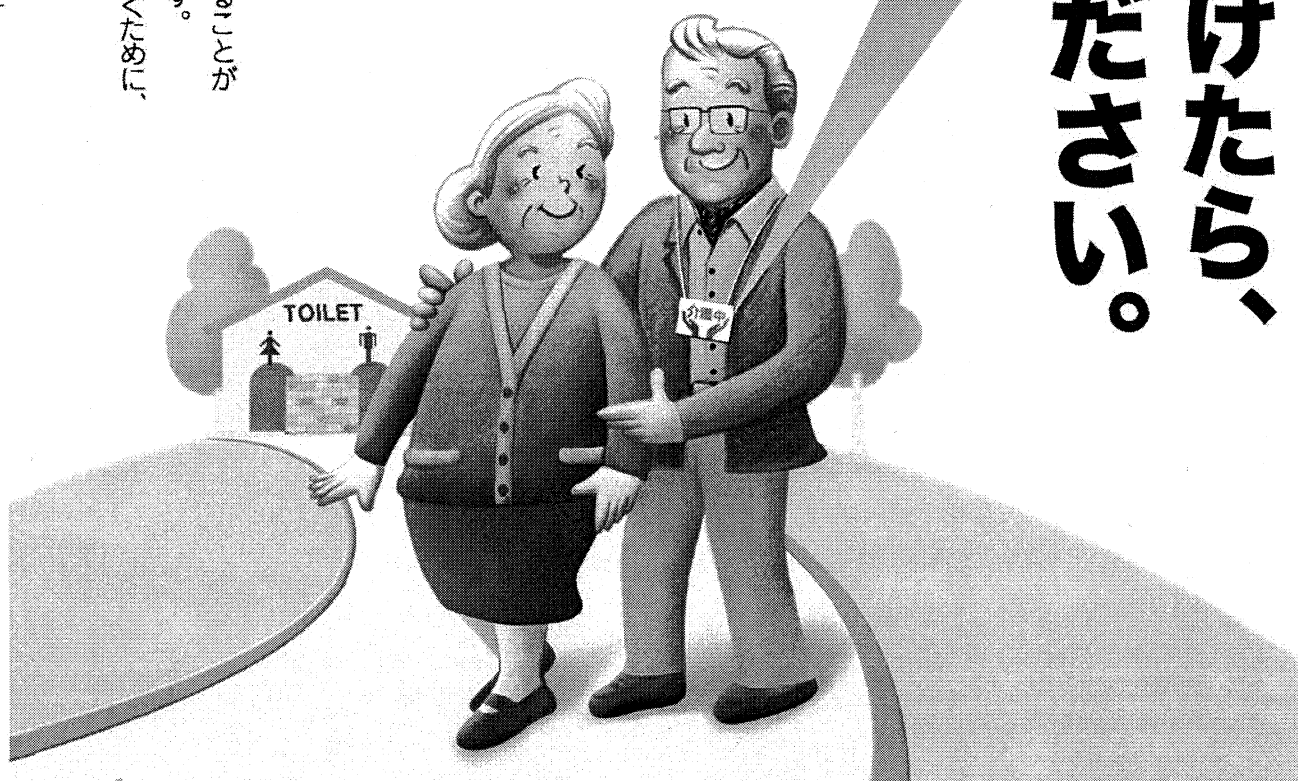


このマークを見かけたら、
温かく見守っててください。

介護マーク



認知症の方の介護は、他の人から見ると介護をしていることが
分かりにくいいため、誤解や偏見を持たれることがあります。
介護する方が介護中であることを周囲に理解していただくために、
「介護マーク」を作成しました。



静岡県における「介護マーク」の取組について

静岡県では、介護する方が、周囲から偏見や誤解を受けることがないよう、介護マークを作成し、平成23年4月から配布を開始した。現在、マークの配布と県内外への普及啓発を、同時進行で進めている。

配布

- 県は、各市町にマークを送付し、市町と地域包括支援センターの窓口で必要な方に配布(23.10月末現在で7,139個配布済)
- 市町は、庁舎内でのポスター掲示とチラシ配架、広報紙への掲載、介護認定通知書送付時にチラシを同封などにより普及啓発を図るとともに、ケアマネジャー、民生委員等と連携し、周知、利用促進を図る。

普及・啓発

- 県は、介護マークのポスター・チラシの掲示や社員への研修等、可能な範囲内で協力していただける、スーパーや金融機関等の事業所を、「介護マーク普及協力事業所」に指定し、官民一体で普及に取り組む。(23.11月末現在で122事業所)
- 県は、緊急雇用創出事業を活用して、県内の企業等を周リ、介護マークのPRを行う人材を雇用し、「ふじのくに企業介護マーク等理解促進事業」を実施 ⇒ 事業委託

